平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	文章表現基礎講座			授業コード	A030851
担当教員名	舛田　佳弘			科目ナンバリングコード	A10303
配当学年	2	開講期	後期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	日本語能力試験N2程度の語学力を有することが望ましい。				
受講心得	ノートを用意し、国語辞典(電子辞書も可)を常に携帯するのがよろしい。予習や復習のために図書館や人間力育成センターの図書を積極的に利用しましょう。欠席や遅刻のないように、また、授業時間以外にも新聞・雑誌・本をよく読むように心がけること。				
教科書					
参考文献及び指定図書					
関連科目					

授業の目的	留学生にとって、語学の学習はハンディキャップと映るかもしれません。しかし、外国語で勉強するが故にあいまいさを残さず理解できるというメリットもあります。本講座では文章実践や口語表現を学んでさらに日本語力に磨きをかけ、それによって日常生活におけるコミュニケーション能力の養成を図るとともに、論作文の訓練も行います。
授業の概要	会話と作文といった発信力の強化を中心に行います。ときどき確認のためのテストを行います。 大在地域でのイベントに参加し、地域住民と球技や料理を通じて交流を図ります。 試験は実施しません。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : オリエンテーション 授業の進行や評価方法などについて説明を行います。	
第 2 週 : 日本語力確認テスト 現状での日本語能力を確認するために簡単な試験を行います。結果が直接に評価に反映されることはありません。	
第 3 週 : 自己紹介1 自身の専門や興味・関心、留学に至った経緯など発表してもらいます。	
第 4 週 : 文章要約 ある程度の長さの文章を読んで要約を作成してもらいます。	
第 5 週 : ビデオによる学習 日本語によるビデオを見て、その概要と感想を作成してもらいます。	
第 6 週 : 作文 テーマに沿って作文を作成してもらいます。	
第 7 週 : ディスカッション	

グループに分かれて、日本語でディスカッションを行ってもらいます。	
第 8 週 ： 確認テスト 日本語能力の確認テストを行います。	
第 9 週 ： 文章要約・報告 定められた文章を要約し、その内容を報告してもらいます。	
第10週 ： レポート作成 テーマに沿ってレポートを作成してもらいます。	
第11週 ： 地域住民とのコミュニケーション1 大在地区のイベント（球技大会）に参加	
第12週 ： 地域住民とのコミュニケーション2 大在公民館において料理イベントに参加	
第13週 ： 自己紹介2 自身の専門の内容について、できるだけ丁寧に説明を行ってもらいます。	
第14週 ： ディベート グループに分かれ、テーマに沿ってディベートを行います。	
第15週 ： 小論文 自国と大分を比較して小論文を書いてもらいます。論理的で説得的な内容が求められます。	
第16週 ：	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅱ：地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	ふだんの生活の中で何気なく使っている日本語にたいして意識を高め、日本語として自然な表現に関心をもち、社会人としての十分なコミュニケーションが行えること。
【知識・理解】	日常の言語的コミュニケーションに必要な、日本語の基礎的な理解力と文章表現力とを有すること。 わからない言葉・表現はすぐに調べるよう心掛けること
【技能・表現・コミュニケーション】	日常の言語的コミュニケーションを十分に行うために必要な日本語の運用能力を備え、相手にわかりやすく説明できること。
【思考・判断・創造】	日常の言語活動において的確な言葉を選択する能力や、適切な言葉によって深く掘り下げて考える能力が身についていること。

〇成績評価基準（合計100点）	合計欄	100点

到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	**5点**	**10点**	**10点**
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**5点**	**10点**	**10点**
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	**5点**	**10点**	**10点**
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	**5点**	**10点**	**10点**

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	できる限り時間内に提出する。
発表・その他（無形成果）	積極的に発言し、わかりやすい日本語で説明できる